

HELICS 協議会
2009年度事業計画

1. 標準化指針の審査：申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、「医療情報標準化指針」を策定する（審査委員会）。
各団体からの申請以外に、標準臨床検査項目コード、J-MIX（情報項目交換セット）、JJ1017指針（HIS-RIS-PACS モダリティ間情報連携指針）などについて申請可能かどうか各団体と協議し、可能であれば申請してもらい審議を進める。また、すでに HELICS 規格となったものについても、更新などその後の運用に問題がないか検討する（標準化委員会）。
2. 標準化指針の更新：すでに採択した標準化指針について、申請団体に標準規格の検討を依頼し、必要に応じて更新申請を行うよう指導する（標準化委員会）。
3. 情報の提供：標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を作成する（広報委員会）。
4. 標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催
第7回 HELICS シンポジウムを医療情報学連合大会時に開催する。
5. HELICS 協議会を説明するパンフレットを、関連団体や学会で配布する（広報委員会）。
6. ISO TC215 や IHE-J 等の標準化推進規格団体との連携を強化する。
7. HELICS ニュースを発行する（広報委員会）。
8. 標準化委員会を開催し、標準化の現状について調査するとともに、本協議会の長期的な標準化方針の策定、標準規格の提案勧告などを行う。
9. 委員会活動を促進して、必要に応じて会費の見直しを行う。

2009年度(平成21年度)収支予算 (2009.4.1~2010.3.31)

1 収入の部 (円)

科 目	2009年度予算額	備考
1.財産運用収入	0	
2.会費収入		
正会員	250,000	5万円×4団体+未収金(5万円)
幹事会員	600,000	10万円×6団体
3.事業収入	0	
4.雑収入	0	
小計	850,000	
前年度繰越金	3,291,981	
当期収入合計	4,141,981	

2 支出の部

科 目	2009年度予算額	備考
1.事業費		
シンポジウム	300,000	会場費、講師旅費など
標準化委員会	400,000	会議費、旅費など
審査委員会	400,000	会議費、旅費など
広報委員会	400,000	HELICSニュース、パンフレット、ホームページ、会議費、旅費など
2.管理費		
会議費	150,000	理事会・総会
印刷費	30,000	
消耗品費	10,000	
通信運搬費	10,000	切手代など
交通費	300,000	理事会・総会
雑役務費	70,000	振込手数料、事務局経費他
3.予備費	20,000	
小計	2,090,000	
次年度繰越金	2,051,981	
当期支出合計	4,141,981	